

日本大学 工学部 土木工学科 教育目的

社会基盤や環境の保全と防災力の向上、資源の循環など、これからの社会システムの基本とすべき事柄を正しく認識した上で、ものづくりに関する基礎技能と、自然環境との共生を図る意識と高い倫理観を有する豊かな人間性を有し、社会基盤の整備・発展に実践的に従事できる技術者を養成します。



日本大学 工学部 土木工学科 学修・教育目標

(平成 21・22・23・24 年度入学生)

幅広い一般教養と外国語能力

- (A-1) 技術者として人類の幸福に貢献できる人材となるために、他者の視点も含めた幅広い一般教養を身につける。
- (A-2) 技術者としてグローバルに活躍するために必要な、外国語の基礎的な会話や文章作成能力を身につける。

高い倫理観と安全性に関する知識

- (B-1) 技術者としての職務上の社会的ルールと高い倫理観を身につける。
- (B-2) 土木技術者として地域社会の安全・安心に関する知識を身につける。

自然科学の基礎と IT 利用技術

- (C-1) 数学、物理、化学等の自然科学の基礎を身につける。
- (C-2) 技術者に必要な基本ソフトの操作技術を身につける。

専門的な基礎知識・基礎技術と問題解決能力

- (D-1) 土木の主要分野のうち構造工学系、地盤工学系、水理学系、コンクリート工学系、土木計画学系、環境工学系の基礎及び社会基盤の整備に必要な専門基礎を身につける。
- (D-2) 実験、実習及び製図を通じて、計画・遂行・解析・考察する能力及び時間内に作業を進め、まとめる能力を身につける。
- (D-3) ゼミナール、卒業研究を通じて、環境問題や実務上の問題を正しく認識し、解決して報告する能力を身につける。

自主的・継続的に学習する能力と総合的な課題解決能力

- (E-1) 専門基礎知識を修得し、自主的かつ継続的に学習する能力を身につける。
- (E-2) 解が一つではない課題について、総合学力、専門学力をもって解を見いだす能力を身につける。

資格取得のための基礎的な技術能力

- (F) 卒業後、数年で必要な資格取得を可能にするために、多様な分野の要請に対応できる基礎的な技術能力を身につける。

コミュニケーション力

- (G) 情報機器を活用した情報収集・分析・発表能力及び論理的な文章作成・口頭発表・討論能力を身につける。